

## 銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● E-mail: ga-tpc@ginza.co.jp

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

先日来、チラシ等でご案内しているとおり、年明けに銀座街づくり会議の中間報告会を開催します。銀座街づくり会議ではシンポジウムや勉強会を重ねる一方、4人の

専門家をお願いして「銀座にふさわしい空間とはどういうものか」を調査研究していただきました。その中間報告をお聞きします。

「銀座街づくり会議」:: 中間報告会

## 銀座にふさわしい空間とは？ 考えよう。21世紀・銀座のまちづくり

**A** 2005年1月21日(金) 14時～16時(13時半開場) 京橋プラザ2階ホール

**B** 2005年2月2日(水) 銀座通連合会会議室

■ 10時半～ ■ 12時半～ ■ 14時半～

■ 16時半～ ■ 18時半～ ■ 20時半～ (各1時間)

※21日にご都合の悪い方のために、また銀座のさまざまな業種の方にご参加いただけるよう、もう一日用意しました。幅広い時間帯で1時間ずつ行います。ご都合のよい時間におこしください。内容は21日と同じです。

一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

### ご報告頂く先生方

蓑原敬 (都市プランナー)

岡本哲志 (岡本哲志都市建築研究所)

倉田直道 (工学院大学教授)

小林博人 (㈱小林・楨デザインワークショップ)

銀座にはすでに地区計画「銀座ルール」が存在し、各通りごとの容積率や高さ制限等が決められています。しかしその後できた「都市再生法」を使えば、銀座ルールを越えた大規模開発をすることが可能です。それに対して、地元と中央区が98年に粘り強く話しあった成果である「銀座ルール」をあくまで守ろう、と皆で表明するのか。それとも、合法的であるのならスーパーブロックに超高層ビルの建つ銀座も良しとして容認するのか。近い将来その選択が迫られることとなります。今ぜひ皆さんに真剣にお考え頂きたいのです。

銀座は歴史のなかで常に変化し続け、変化することによってよりいっそう魅力的になってきた街です。これからの開発は必要です。経済的効率性だけから考えれば、超高層の大規模開発が一般的です。しかし銀座の変化は歴史的につくりあげられてきた街並みや街区の構造を背景とし、それを歴史的財産として継承しながら発展してきたものです。超高層大規模開発は、その歴史を途切れさせてしまいます。では銀座にとっては、どんな開発が「銀座らしい」開発なのでしょう？

専門家の先生方には、銀座の街を歩き回ったり、また町会をはじめ地元の皆さんと話しあったりしながら、銀座が独特のにぎわいと繁栄の歴史をつくりあげてきたのはどういう理由からか、銀座にとってふさわしい空間とはどういうものか、ということ調査研究していただいています。そして将来の方向性を出そうとしています。しかし、これから銀座をどういう街にしたいか、ということを決断するのは銀座の人々です。

どんな街並みの景観を銀座らしさとして生かしてゆくか。どんな都市デザインをしてゆくか。色や看板、ファサードも関係してきます。交通や駐車・駐輪等も大きな課題です。また銀座内の地域や通りごとの特徴もあります。そういった様々なことを考慮しながら、銀座全体をもっともっと魅力的にしてゆくために、街のルールを作ってゆくとすれば、その手法として地区計画や景観法など、どれがふさわしいのかも勉強しなくてはなりません。それらを話し合い、合意してゆくコミュニティづくりも重要です。中間報告会は、銀座の将来を皆さん自身が考え、議論できる場にしたいと思っています。そして、銀座の意志を作り上げてゆくステップとしたいと思っています。

### 銀座模型の公開

森ビル模型工房が作成した銀座の現状模型(500分の1)が、一般公開されます。期間: 2005年1月5日～11日  
場所: 松坂屋